

今後のスケジュールについて

<開催の目的>

- 現在の京都議定書目標達成計画は2008～2012年度の計画であり、2013年度以降の中長期的な低炭素社会構築に向けて、総合的・計画的に進めるために、2011～2012年度で準備を進める必要がある。
- 国際的な観点からも、日本が2013年度以降も気候変動対策に真摯に取り組む意志があることを明確に示すことが必要となる。
- また、東日本大震災による影響への対応や復興の観点から、再生可能エネルギーの大量導入、一層の省エネルギーの徹底等により、持続的なエネルギー需給や防災にも資する、温暖化対策の抜本的強化を推進していくことが必要となっている。
- 加えて、2011年度は第4次環境基本計画の策定に向けた準備期間であり、持続可能な社会を構築していくという観点から地球温暖化対策分野についても重点的に議論を行うことが必要となっている。
- 以上の観点から、地球環境部会を開催し、2011年度、2012年度の2カ年で中長期的な温暖化対策による低炭素社会構築に向けた方策についての検討を実施することとする。

<検討事項>

- ・ 2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について
- ・ 東日本大震災を踏まえた今後の低炭素社会に向けた方針
- ・ 当面早急に実施すべき施策

<検討スケジュール>

2011年

- 7月11日～12月9日 中央環境審議会地球環境部会（第93回～第99回）
 - ・ 当面早急に実施すべき施策
 - ・ 東日本大震災を踏まえた今後の低炭素社会に向けた方針について

2012年

- 1月30日 第100回中央環境審議会地球環境部会
2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について（1）
- 2月29日 第101回中央環境審議会地球環境部会
2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について（2）
- 3月23日 第102回中央環境審議会地球環境部会
2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について（3）

- 4月4日 第103回中央環境審議会地球環境部会
2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について（4）
技術モデルによる分析結果の検討 等

- 4月13日 第104回中央環境審議会地球環境部会
2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について（5）
技術モデルによる分析結果の検討 等

- 4月25日 第105回中央環境審議会地球環境部会
2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進について（6）
部会での選択肢の原案等のとりまとめに向けた議論 等

経済モデルによる経済分析等を踏まえ、地球温暖化対策の選択肢の原案や2013年以降の対策・施策についてのとりまとめに向けて議論

- 春頃（目途） 地球環境部会でとりまとめた内容をエネルギー・環境会議に報告

- 夏頃（目途） 2013年度以降の総合的・計画的な地球温暖化対策の推進についての提言とりまとめ

（夏頃（目途） エネルギー・環境会議において戦略をとりまとめ予定）